

性状等

成分：過酢酸(5~6%)、過酸化水素(6%未満)、酢酸(約40%)、無機酸(1%未満)
分類：雑品
液性：酸性(原液:pH1、200倍希釈液:pH3)
外観：無色透明液体
臭気：酢酸様の刺激臭
使用期限：製造後12ヶ月

使用方法

1 洗浄方法に応じた希釈倍率で、透析装置や配管を一定時間洗浄する。

希釈倍率の目安 夜間封入時:500~600倍希釈、シングルパス時:300~400倍希釈、強力洗浄が必要な場合は200倍程度に希釈
※状況に応じて希釈倍率と洗浄時間を調整してください。※希釈液は少量で調製し、なるべく早く使い切ってください。

2 夜間封入およびシングルパス後、十分なすすぎを行う。

すすぎ時間の目安 水洗で60分以上(必要に応じて残留を確認する)

※パクテスト®過酸化水素(株式会社共立理化学研究所)などを用いて、過酸化水素の残留確認(検出感度0.05ppm以下)を行ってください。
※過酸化水素が残留していないことを確認した後、過酸化水素が再検出されることがありますので、RO水による水洗や封入を追加したうえで(30分程度)、過酸化水素の残留を再確認することをおすすめいたします。

使用上の注意

- 本品に消毒・滅菌効果はありません。
- 用途以外に使用しない。
- 他の薬剤・洗浄剤とは混ぜない。特に、塩素系薬剤と混ぜない。有害な塩素ガスが発生する。
- 作業時は、必ず保護メガネおよびマスク、保護手袋、保護着を着用する。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしない。
- 人体には使用しない。
- 一度容器から出した薬剤は、もとの容器に戻さない。
- 換気の良い場所で作業し、ミストの吸入を避ける。
- 原液は刺激臭がある。
- 鉄、銅、真ちゅう、亜鉛鋼板、炭素鋼には使用しない。
- 使用後は、水で目・皮膚・のど・手をよく洗う。
- キャップを開けるとき、液が飛び出す恐れがある。また、容器を移動するときは、キャップをしっかり閉める。緩んでいると、液が跳ねて目や皮膚に付く恐れがある。
- 廃棄時は適切な中和剤を用いて中和後、多量の水とともに廃棄する。そのまま廃棄すると、廃水処理施設の活性汚泥や配管に影響を与える恐れがある。
- 使い終わった容器はよく洗ってから処理する。
- 内容物や容器は、(国際/国/都道府県/市町村)の規則に従って廃棄する。
- 使用期限が過ぎたものは使用しない。

保管上の注意

- 他の容器に移し替えて保管しない。
- 小児や認知症の方の誤飲などを防ぐため、置き場所に注意する。
- 容器のキャップをしっかり閉め、容器を密閉して換気の良いところで保管する。
- 容器は必ず上向きで保管する。横に倒すと液が漏れ出る恐れがある。
- 倒れたり、こぼれたりすることのないような場所に保管する。
- 直射日光の当たらない冷暗所に保管する。

応急処置

- ※診断時は、必ず本品またはSDSを持参する
- 蒸気または有毒なガスを吸い込んだ場合、直ちに風通しの良い場所に移動し、安静にした後に速やかに医師の診断を受ける。手当が遅れると生命にかかわる恐れがある。
 - 目に入った場合は、直ちに多量の流水で15分以上洗い流す。異常がある場合は医師の診断を受ける。
 - 飲みこんだ場合、直ちに多量の水、牛乳や生卵を飲ませる(アレルギーの場合はその限りではない)。無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。
 - 液が皮膚に付いた場合、直ちに多量の水で十分に洗い流す。液が付着した衣服や靴は直ちに脱ぐ。手当が遅れると炎症を起こす恐れがある。
 - いずれの場合も、容態に変化があった場合は、本品または、SDSを持参し医師の診断を受ける。

品名	内容量/規格	1梱入数	商品コード	JANコード
サラティブPA	10L	1	31890	49-87696-31890-8

■製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。 ■写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なることがあります。 ■掲載製品の詳細については、取扱店または当社にお尋ねください。 ■記載内容は2025年6月現在のものです。

サラヤ株式会社

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
https://www.saraya.com/

お問い合わせ先 TEL.06-6797-2525

学術的なお問い合わせ先 学術部 TEL.06-4706-3938
(受付時間：平日 9:00~17:00)

SARAYA

商品の詳しい情報は
こちらから▶



透析装置専用 過酢酸系洗浄除菌剤

サラティブPA

透析装置や配管に付着した
**微生物汚染、有機物汚染、
炭酸カルシウムスケールの
除去に最適な過酢酸系
透析装置専用洗浄除菌剤です。**



10L



製品特徴

除菌性能・バイオフィーム除去性能

高希釈倍率&短時間で微生物汚染や有機物汚染に作用し、透析装置や配管内に発生するバイオフィームの抑制や除去につながります。

炭酸カルシウムスケール除去性能

クエン酸やリンゴ酸などを主成分とした有機酸系洗浄剤と同等の性能を有しており、炭酸カルシウムスケールによる配管の詰まりを抑制します。

材質適合性

透析装置や配管に使用されている部品に対する腐食性が低く、透析装置の動作に影響を与えません。

非劇物

使用時や保管時の安全性に配慮しています。

除菌性能

最小発育阻止濃度(MIC)試験

サラティブPAを精製水で希釈し、グラム陰性菌、グラム陽性菌、酵母を 10^6 から 10^7 CFU接種しました。グラム陰性菌とグラム陽性菌は37°Cで24時間、酵母は30°Cで72時間培養した後、濁りのない濃度を最小発育阻止濃度(MIC)としました。

希釈倍率	100倍希釈	200倍希釈	400倍希釈	800倍希釈	—	MIC値/%
濃度/%	1	0.5	0.25	0.13	0	
グラム陰性菌	—	—	—	+	+	0.25
グラム陽性菌	—	—	—	+	+	0.25
酵母	—	—	+	+	+	0.5

—:濁りなし・発育なし、+:濁りあり・発育あり

除菌性能試験

サラティブPAを精製水で希釈し、グラム陰性菌、グラム陽性菌、酵母を 10^7 から 10^9 CFU接種しました。一定時間作用させた後、不活化剤で不活化し、グラム陰性菌とグラム陽性菌は37°Cで24時間、酵母は30°Cで72時間培養した後、生菌数を測定し、対数減少値を求めました。

供試菌	初期菌数 (Log CFU/mL)	作用時間	対数減少値(Log CFU/mL)				
			200倍希釈液	300倍希釈液	400倍希釈液	500倍希釈液	600倍希釈液
グラム陰性菌	8.1	30秒	>7.1	>7.1	>7.1	>7.1	>7.1
グラム陽性菌	7.4	30秒	>6.4	>6.4	>6.4	>6.4	>6.4
酵母	6.8	1分	3.8	2.9	2.5	1.6	1.1
		3分	>5.8	5.8	3.3	2.8	2.2
		5分	>5.8	>5.8	>5.8	3.4	2.9
	6.4	30分	—	—	—	4.1	3.1
		60分	—	—	—	>5.4	4.3
		120分	—	—	—	>5.4	>5.4

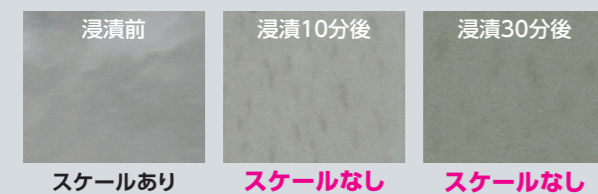
サラティブPAは、グラム陰性菌とグラム陽性菌に対して、全ての希釈液で作用時間30秒後で検出されませんでした。酵母に対して、サラティブPAの200倍希釈液では作用時間3分後、300倍～400倍希釈液では作用時間5分後で検出されませんでした。

炭酸カルシウムスケール除去性能

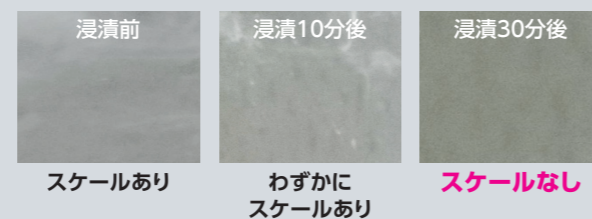
炭酸カルシウムスケール除去性能試験

無色透明の硬質塩化ビニルテストピース(3cm×5cm)に、炭酸カルシウムスケールを付着させました。テストピースをサラティブPAの希釈液に浸漬し、炭酸カルシウムスケール溶解の様子を外観観察しました。

サラティブPA200倍希釈液



サラティブPA500倍希釈液



サラティブPAの200倍希釈液に浸漬すると10分後、500倍希釈液に浸漬すると30分後には炭酸カルシウムスケールが溶解しました。

材質適合性

材質適合性試験

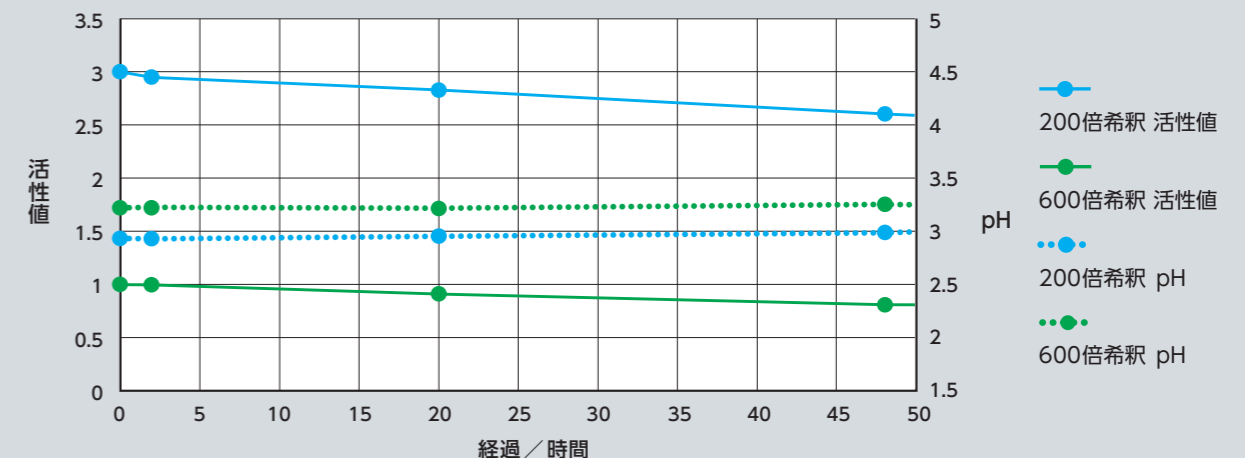
サラティブPAを精製水で200倍に希釈し、各種材質のテストピースを浸漬しました。50°Cで7日間保管後、テストピースの重量変化率と外観変化を調べました。対照は精製水としました。

材質	精製水		サラティブPA 200倍希釈液	
	重量変化率/%	外観変化	重量変化率/%	外観変化
ステンレス：SUS304	0.00	なし	0.00	なし
ステンレス：SUS316L	0.00	なし	-0.01	なし
硬質塩化ビニル	-0.23	なし	-0.06	なし
軟質塩化ビニル	-0.19	なし	-0.03	なし
シリコン樹脂	-0.29	なし	-0.21	なし
フッ素ゴム	0.57	なし	1.65	なし
ポリプロピレン	0.01	なし	-0.01	なし
ポリエチレン	0.00	なし	-0.01	なし
EPDMゴム	0.00	なし	-0.11	表面に荒れ、白色化
フッ素樹脂：PTFE	-0.19	なし	-0.05	なし
ポリスチレン	0.01	なし	0.02	なし
ABS樹脂	0.32	なし	0.35	なし
アクリル樹脂	0.87	なし	0.87	なし
ポリフェニルサルフォン	0.41	なし	0.42	なし
ポリエーテルイミド	0.49	なし	0.31	なし
ポリカーボネート	0.07	なし	0.07	なし
ガラス	0.00	なし	0.00	なし
PET	0.33	なし	0.32	なし
ポリフェニレンサルファイド	0.02	なし	0.03	なし

希釈時の経時変化

希釈時の経時変化

サラティブPAを精製水で200倍または600倍に希釈し、室温で保管しました。200倍および600倍希釈時の活性値をそれぞれ3、1とし、経時的な活性およびpHを測定しました。



サラティブPAの希釈液は長期間活性を維持します。